



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)島田 和幸
 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石神 幸宏
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	93,316	14.4	10,664	51.6	10,604	47.5	7,285	50.5
2018年3月期第3四半期	81,592	13.8	7,035	—	7,190	—	4,839	21.0

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 7,300百万円 (50.8%) 2018年3月期第3四半期 4,842百万円 (26.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	57.22	56.53
2018年3月期第3四半期	38.19	37.77

(注) 2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	95,585	79,523	82.2
2018年3月期	92,380	75,597	81.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 78,604百万円 2018年3月期 74,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2019年3月期	—	30.00	—		
2019年3月期(予想)				15.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

(注) 2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2019年3月期第2四半期末配当金については分割前の株式に対するもの、2019年3月期(予想)期末配当金については分割後の株式に対するものであります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	11.9	12,200	44.4	12,300	42.2	8,400	35.7	66.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	130,353,200株	2018年3月期	130,353,200株
2019年3月期3Q	2,823,612株	2018年3月期	3,220,014株
2019年3月期3Q	127,314,857株	2018年3月期3Q	126,713,861株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内需要が堅調に推移したことに加え、インバウンド需要の寄与により、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が大幅な増収となり、全体では93,316百万円(前年同期比14.4%増)となりました。営業利益は、マーケティング費用や業績向上に伴う人件費の増加があったものの、増収効果による売上総利益の増加などにより、10,664百万円(前年同期比51.6%増)となりました。経常利益は10,604百万円(前年同期比47.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,285百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、54,108百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

	2018年3月期 前第3四半期連結累計期間		2019年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	37,931	76.8	42,708	78.9	12.6
アテニア化粧品	8,483	17.2	8,806	16.3	3.8
boscia(ボウシヤ)	2,320	4.7	2,052	3.8	△11.5
その他	651	1.3	542	1.0	△16.8
合計	49,387	100.0	54,108	100.0	9.6

	2018年3月期 前第3四半期連結累計期間		2019年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	20,827	42.2	20,849	38.5	0.1
店舗販売	17,579	35.6	21,567	39.9	22.7
卸販売他	5,169	10.5	5,850	10.8	13.2
海外	5,811	11.7	5,841	10.8	0.5
合計	49,387	100.0	54,108	100.0	9.6

ファンケル化粧品は、2018年9月にリニューアル新発売した基礎化粧品や、発売20周年を迎えた「マイルドクレンジング オイル」などが好調に推移したことに加え、マチュア世代向け化粧品「ビューティブーク」の寄与などにより、42,708百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

アテニア化粧品は、主力の「スキんクリア クレンジング オイル」や、2018年10月にリニューアル新発売した「アイ エクストラ セラム」などが堅調に推移し、8,806百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

boscia(ボウシヤ)は、前年上期の一時的な出荷集中の反動などにより、2,052百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は20,849百万円(前年同期比0.1%増)、店舗販売は21,567百万円(前年同期比22.7%増)、卸販売他は5,850百万円(前年同期比13.2%増)、海外は5,841百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、売上増による生産効率の改善などにより、営業利益は8,889百万円(前年同期比19.3%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、33,855百万円(前年同期比26.0%増)となりました。

	2018年3月期 前第3四半期連結累計期間		2019年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	10,235	38.1	11,044	32.6	7.9
店舗販売	7,514	28.0	10,897	32.2	45.0
卸販売他	7,723	28.7	9,988	29.5	29.3
海外	1,394	5.2	1,925	5.7	38.1
合計	26,867	100.0	33,855	100.0	26.0

製品面では、次期スター製品候補の「内脂サポート」や、「年代別サプリメント」などが好調に推移し、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は11,044百万円(前年同期比7.9%増)、店舗販売は10,897百万円(前年同期比45.0%増)、卸販売他は9,988百万円(前年同期比29.3%増)、海外は1,925百万円(前年同期比38.1%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、売上増による生産効率の改善などにより、営業利益は3,471百万円(前年同期比343.7%増)となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は、5,352百万円(前年同期比0.3%増)となりました。

	2018年3月期 前第3四半期連結累計期間	2019年3月期 当第3四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,726	1,563	△9.4
青汁	1,993	1,998	0.3
その他	1,617	1,790	10.7
合計	5,337	5,352	0.3

営業損益

損益面では、発芽米の売上総利益率の悪化などにより、174百万円の営業損失（前年同期は175百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて3,205百万円増加し、95,585百万円となりました。この要因は、流動資産の増加3,458百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加1,528百万円、商品及び製品の増加1,112百万円および原材料及び貯蔵品の増加1,168百万円と、現金及び預金の減少727百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて720百万円減少し、16,062百万円となりました。この要因は、流動負債の減少718百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、賞与引当金の減少585百万円および未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少1,735百万円と、未払法人税等の増加1,472百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,926百万円増加し、79,523百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加7,285百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少3,754百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.2ポイント上昇し、82.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、2018年7月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,641	35,913
受取手形及び売掛金	13,791	15,319
商品及び製品	4,109	5,222
仕掛品	21	20
原材料及び貯蔵品	4,169	5,338
その他	965	1,340
貸倒引当金	△155	△152
流動資産合計	59,543	63,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,402	27,814
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,665	△16,183
建物及び構築物（純額）	11,736	11,630
機械装置及び運搬具	8,541	9,233
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,831	△7,247
機械装置及び運搬具（純額）	1,709	1,985
工具、器具及び備品	8,204	8,531
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,088	△7,262
工具、器具及び備品（純額）	1,116	1,269
土地	11,607	11,839
リース資産	301	274
減価償却累計額及び減損損失累計額	△170	△196
リース資産（純額）	131	78
その他	302	213
有形固定資産合計	26,603	27,016
無形固定資産		
その他	2,465	2,109
無形固定資産合計	2,465	2,109
投資その他の資産		
投資有価証券	126	176
その他	3,641	3,281
投資その他の資産合計	3,768	3,458
固定資産合計	32,836	32,583
資産合計	92,380	95,585

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,025	3,021
未払法人税等	1,230	2,703
賞与引当金	1,343	757
ポイント引当金	1,576	1,709
資産除去債務	-	0
その他	8,248	6,513
流動負債合計	15,424	14,705
固定負債		
退職給付に係る負債	703	719
資産除去債務	409	409
役員賞与引当金	-	55
その他	245	172
固定負債合計	1,358	1,357
負債合計	16,782	16,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	54,796	58,296
自己株式	△2,338	△2,055
株主資本合計	74,959	78,743
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	89	97
退職給付に係る調整累計額	△243	△236
その他の包括利益累計額合計	△154	△138
新株予約権	791	918
純資産合計	75,597	79,523
負債純資産合計	92,380	95,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	81,592	93,316
売上原価	23,539	26,823
売上総利益	58,052	66,493
販売費及び一般管理費	51,017	55,828
営業利益	7,035	10,664
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	0	0
受取賃貸料	77	68
為替差益	17	-
雑収入	106	84
営業外収益合計	204	156
営業外費用		
固定資産賃貸費用	26	26
為替差損	-	1
支払補償費	-	166
雑損失	22	21
営業外費用合計	49	216
経常利益	7,190	10,604
特別利益		
固定資産売却益	-	299
新株予約権戻入益	3	1
退職給付制度移行益	5	-
特別利益合計	8	300
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	43	199
減損損失	1	12
店舗閉鎖損失	86	42
その他	1	8
特別損失合計	132	263
税金等調整前四半期純利益	7,066	10,641
法人税、住民税及び事業税	1,073	3,128
法人税等調整額	1,153	228
法人税等合計	2,227	3,356
四半期純利益	4,839	7,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,839	7,285

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	4,839	7,285
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△33	8
退職給付に係る調整額	36	7
その他の包括利益合計	2	15
四半期包括利益	4,842	7,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,842	7,300
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	49,387	26,867	5,337	81,592	—	81,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	49,387	26,867	5,337	81,592	—	81,592
セグメント利益	7,450	782	175	8,408	△1,372	7,035

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△1,372百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	54,108	33,855	5,352	93,316	—	93,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	54,108	33,855	5,352	93,316	—	93,316
セグメント利益又は損失(△)	8,889	3,471	△174	12,187	△1,522	10,664

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,522百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。